

平成22年度自然科学概論の取組みについて

学校設定科目「自然科学概論」は、平成13年度から実施されている高大連携授業で、本年度は7月17日から18日、24日から26日の合計5日間の日程で行われました。

本年度は「災害を科学する」という中心テーマの下に、地学及び物理の2領域から以下の4つの講座を開講しました。

『古文書・碑文から南海地震を調べる』

『防災に役立つ情報技術～気象衛星画像を中心に』

『降雨・地震と山地災害との関係を調べる』

『突風災害を調べる』

生徒たちは、須崎市や仁淀川町でのフィールドワーク、高知大学の情報処理室での画像処理等の実習、また、同じく高知大学で実験室での竜巻やダウンバーストに関する模擬実験等、普段の高校の授業とは違った学びを体験し、楽しく有意義な時間を過ごすことができたようです。



画像処理実習



講義風景



竜巻のシュミレーション実験



修了式風景